

人と心に奥底から寄りそい、 深く静かにかかわる 臨床心理の学び。

時代の変化に翻弄されることなく、心の世界と真摯に向き合う姿勢。
そして、社会情勢の変遷とともに移りゆく、心のあり方を大きくとらえる視点。
天理大学大学院臨床心理学専攻では、常にこの両方に軸足を置いています。

箱庭療法を日本に初めて導入した河合隼雄先生の伝統を受け継ぐ気風のなか、
人と人が会うことから始まる臨床心理学の真髄に触れ、
人と心に奥底から寄りそうことができる心理専門職を育成する体制を整えています。

教育現場、医療現場をはじめ、臨床心理学が求められるさまざまな領域で生きる、
高度な専門知識と心理専門職としての技能・姿勢を養います。
さらに、理性だけでは推し量れない心の深さを知り、
人や人生に畏敬の念を持つことで、自他を受け入れる姿勢を育みます。

本大学院が重視する臨床心理学の教育体制

少人数制

1学年8名につき、
教員6名という徹底した少人数制。
緻密な指導や濃密な議論も
可能な教育環境で、
一人ひとりを見守ります。



臨床実践

本学のカウンセリングルームで、
心理臨床の基礎である
面接を実践実習できる機会が充実。
クライアントとの対話によって
実践力が磨かれ、視野が広がります。

充実した実習体制

関連施設として幼稚園、小学校、病院、児童養護施設などがあり、
各市町村教育支援センターなどの連携を生かし、
学外実習で研鑽を積むことができます。



特色ある臨床教育
CLOSE UP 01

スタッフ全員で事例を検討。 新たな発見や成長のヒントに。

Case Conference 【ケース・カンファレンス】

院生や修士から、特に印象深い教育体験としてたびたび名前が挙がるのがこの「ケース・カンファレンス」です。院生が学内のカウンセリングルームで担当する事例をさまざまな角度から検討し、自由に意見を交わす場となっています。面接の流れや進展状況、見落とされている問題点などが、より明確に。参加者全員が新たな視点や知見を得るとともに、事例の担当者にとって、今後面接を進めるうえでの事例理解を深め、自らの姿勢を見直す機会となっています。



専門家の指導やアドバイスが マンツーマンで受けられます。

特色ある臨床教育
CLOSE UP 02



Supervision 【スーパーヴィジョン】

院生が学内のカウンセリングルームで担当する臨床事例に関して、経験豊かな臨床心理士・公認心理師や精神科医にマンツーマンで指導やアドバイスを受ける時間「スーパーヴィジョン」を設けています。院生の報告をもとに、クライアントの見立て、心理力動の理解、かわり方、今後の見通しなど、日々臨床現場に立つ専門家から、実践的技能や生きた理論を学びます。院内の教員による実践指導に加え、外部の専門家から学ぶことで、臨床経験の質を深めることができます。

学内カウンセリングルームで心理療法を実践。

【学内実習】



学内実習は、本専攻が最も重視する実践訓練です。多くの方が来談される本学のカウンセリングルームにて、実際のクライアントを院生が担当。1年次の秋学期から1年半で複数の方々との心理療法を実践しています。スーパービジョンやケース・カンファレンスなどのきめ細やかな指導体制のなか、臨床心理士や公認心理師としての基本的態度や理解の視点を学びます。

関連機関との連携を生かし、 幼稚園・小学校・病院で実習。

【学外実習】



本大学院の関連施設として、市町村教育支援センター、幼稚園、小学校、病院、児童福祉施設があります。各機関との連携を生かし、さまざまな現場経験を積むことができ、人間理解の幅を広げることができます。週1回の実習をそれぞれの現場で行うことにより、修了後に専門家として歩むための基礎となる、より実践的な経験を積み重ねます。

〔学外実習施設〕

- 天理幼稚園
- 天理小学校
- 天理よろづ相談所病院（憩の家）
- 天理よろづ相談所病院（憩の家）白川分院
- 天理市教育総合センター
- 児童養護施設 天理養徳院 など

充実した設備を整えた学内カウンセリングルーム。

〔面接室〕



成人の方や保護者の方を主な対象とした面接室を4室設けています。対人関係や家族の問題、自己の性格や進路の悩みなど、さまざまなご相談についてともに考え、よりよく生きていかれるように援助します。すべての部屋に、箱庭療法の設備を備えています。

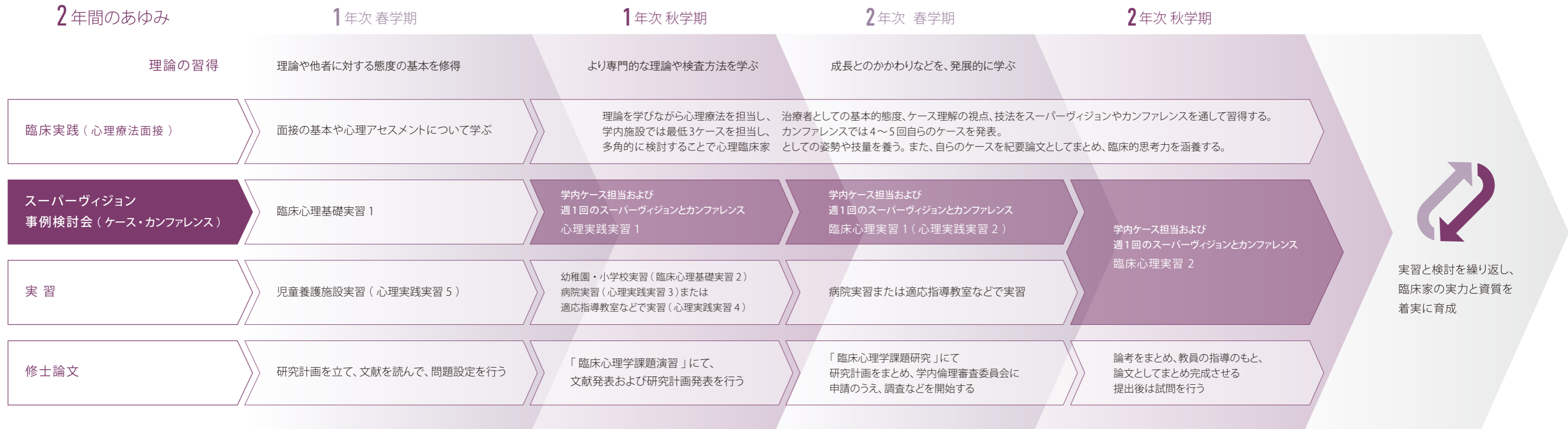
〔プレイルーム〕



- ▷ プレイルーム（大）： 遊戯療法に用いる部屋です。すべり台やミニハウス、砂場、おもちゃを設置。遊びを通して、子どもの心を理解します。
- ▷ プレイルーム（小）： 主に小学生から思春期の子どもを対象とする遊戯療法において使用されます。箱庭のアイテムや人形などが充実。

対話と実践を重視。恵まれた教育環境で、心理臨床を学ぶ2年間。

臨床心理士・公認心理師の資格整備に貢献し、日本におけるユング心理学の第一人者である故・河合隼雄先生は、ここ天理の地で初めて箱庭療法を導入しました。柔軟に新たな概念を受け入れつつ、クライアント主体の姿勢を貫く本院の伝統は当時からのもので、院生に対する教育姿勢にも貫かれています。



カリキュラム

2年間で専門知識と実践経験が得られるよう、きめ細やかな教育を展開。臨床心理士・公認心理師資格取得要件に対応する多数の科目のなかから、関心に応じて履修プランを立てられます。また、学内外施設での実習機会を豊富に設けており、充実した臨床経験を重ねることができます。

| | 授業科目 | 配当年次 | 単位数 | | 授業科目 | 配当年次 | 単位数 | |
|------|-------------------------------|------|-----|----|--|------|-----|----|
| | | | 必修 | 選択 | | | 必修 | 選択 |
| 基幹科目 | 天理教人間学特論 | 1・2 | 2 | | | | | |
| 臨床科目 | 臨床心理学特論1 | 1・2 | | 2 | 心理実践実習3春 | 2 | | 2 |
| | 臨床心理学特論2 | 1・2 | | 2 | 心理実践実習3秋 | 1 | | 2 |
| | 臨床心理面接特論1（心理支援に関する理論と実践） | 1・2 | | 2 | 心理実践実習4春 | 2 | | 2 |
| | 臨床心理面接特論2 | 1・2 | | 2 | 心理実践実習4秋 | 1 | | 2 |
| | 臨床心理査定演習1（心理的アセスメントに関する理論と実践） | 1 | 2 | | 心理実践実習5 | 1 | | 2 |
| | 臨床心理査定演習2 | 1 | 2 | | 精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開） | 1・2 | 2 | |
| | 臨床心理基礎実習1 | 1 | 1 | | 福祉分野に関する理論と支援の展開 | 1・2 | | 2 |
| | 臨床心理基礎実習2 | 1 | 1 | | 教育分野に関する理論と支援の展開 | 1・2 | | 2 |
| | 臨床心理演習 | 1 | 4 | | 犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開） | 1・2 | | 2 |
| | 心理実践実習1 | 1・2 | 2 | | 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 | 1・2 | | 2 |
| | 臨床心理実習1（心理実践実習2） | 2 | | 2 | 家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践） | 1・2 | | 2 |
| | 臨床心理実習2 | 2 | | 1 | 心の健康教育に関する理論と実践 | 1・2 | | 2 |

| | 授業科目 | 配当年次 | 単位数 | |
|------|-------------|------|-----|----|
| | | | 必修 | 選択 |
| 関連科目 | 心理統計法特論 | 1 | | 2 |
| | 臨床心理学研究法特論 | 1 | | 2 |
| | 臨床人格心理学特論 | 1・2 | | 2 |
| | 発達心理学特論 | 1・2 | | 2 |
| | 心身医学特論 | 1・2 | | 2 |
| | 心理療法特論 | 1・2 | | 2 |
| | 学校カウンセリング特論 | 1・2 | | 2 |
| | 投影法特論 | 1・2 | | 2 |
| | 心理療法と宗教 | 1・2 | | 2 |
| | 現代社会と宗教 | 1・2 | | 2 |
| 研究科目 | 臨床心理学課題演習 | 1 | 2 | |
| | 臨床心理学課題研究 | 2 | 2 | |

修了に必要な単位数 必修科目 20単位 + 選択科目 18単位 : 合計 38単位以上 *

* 心理実践実習1～5の総実習時間は450時間以上。うち担当ケースに関する実習時間は270時間以上です。

大学院生研究室



学生8名に教員6名。

きめ細やかな指導が魅力です。

■ 充実した少人数制教育

臨床心理学は、自らの心の姿勢や洞察する感性が求められる総合的な人間学です。本専攻では、1学年8名という徹底した少人数制に加え、ほぼ同人数の教員を配置。臨床心理学を修めるにあたり、とても恵まれた教育環境となっています。教員が豊富な臨床経験や研究活動で得た知見と専門性をマンツーマンで伝え、議論し合い、ともに人間理解を深めています。

教員紹介



千原 雅代 教授

研究科長／博士(教育学)／臨床心理士／公認心理師

- 担当科目：臨床心理基礎実習2、臨床心理査定実習1
- 最終学歴：京都大学大学院 博士後期課程
- 専門領域：臨床心理学
- 主要著書：『思春期のこころとからだ』『不登校の子どもと保護者のための〈学校〉』
- 主要論文：「自閉症児に対する心理療法 一事例とポイント」「自閉的な心性を持つ思春期女子との面接」



高森 淳一 教授

臨床心理士／公認心理師

- 担当科目：臨床心理学特論1、臨床心理実習1
- 最終学歴：京都大学大学院 博士後期課程
- 専門領域：臨床心理学、臨床人格心理学
- 主要著書：『魔女狩り：影と悪について』『苦悩のパラドクスからみた心理療法』
- 主要論文：「子どものプレイセラピーにおける暴力」「物語のメタファーから見た心理療法」



橋本 尚子 教授

博士(教育学)／臨床心理士／公認心理師

- 担当科目：臨床心理実習1、臨床心理基礎実習1・2
- 最終学歴：京都大学博士(教育学)
- 専門領域：臨床心理学、ユング心理学
- 主要著書：『心理療法と現代の意識—「非二」という視点からの考察—』『摂食障害の10代女性との心理面接—背後にある現代の意識—』
- 主要論文：「分離による個の創造—母子分離できない5歳女児とのプレイセラピー—」「自己の刻印としての傷—眠れないことを主訴に来院した18歳女性との面接—」



高嶋 雄介 教授

臨床心理士／公認心理師

- 担当科目：臨床心理学特論2、臨床心理基礎実習1
- 最終学歴：京都大学大学院 博士後期課程
- 専門領域：臨床心理学、心理療法
- 主要著書：『アスペルガー症候群の疑いを指摘された小学校低学年の男児とのプレイセラピー』
- 主要論文：「選択性緘黙の子どもの遊戯療法において身体感覚や身体の在り方に着目する意味」



松井 華子 教授

博士(教育学)／臨床心理士／公認心理師

- 担当科目：臨床心理面接特論2、臨床心理実習1・2
- 最終学歴：京都大学大学院 博士後期課程
- 専門領域：臨床心理学
- 主要著書：『心理療法と情念—イメージとの対話による主体の生成—』
- 主要論文：「風景構成法から見た対人恐怖の心性について—自己意識のあり方に着目して—」「風景構成法の彩色過程研究の可能性について—彩色指標作成の試み—」



金山 元春 教授

博士(心理学)／臨床心理士／学校心理士／公認心理師

- 担当科目：臨床心理学研究法特論、教育分野に関する理論と支援の展開
- 最終学歴：広島大学大学院 博士課程後期
- 専門領域：教育心理学、学校心理学、カウンセリング心理学
- 主要著書：『カウンセリングエッセー—人と関わる知恵—』『心理学研究の新世紀3教育・発達心理学』
- 主要論文：「教員のリソースを喚起する教育相談研修の試み」「学級単位の集団社会的スキル訓練—現状と課題—」

《 修了後の進路 》

心理職として、教育・医療・福祉などのさまざまな現場で活躍する道がひらかれています。対話と実践を重視し、院生自身の個性や臨床家としての姿勢を育む本大学院の教育姿勢が各領域で認められ、修了時の進路決定率 100%という結果に結びついています。

※ 公認心理師になるためには、修士課程修了後に公認心理師国家試験に合格する必要があります。

※ 臨床心理士になるためには、修士課程修了後に(財)日本臨床心理士資格認定協会の資格試験に合格する必要があります。

■ 職種

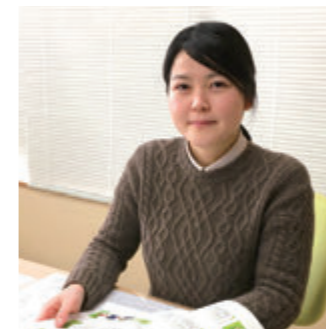
- 児童養護施設 心理職
- 精神科クリニック サイコロジスト
- スクールカウンセラー
- 適応指導教室 心理職

■ 就職実績(常勤)

- 社会福祉法人 因伯子ども学園
- 社会福祉法人 天理養徳院
- 児童養護施設 白梅園
- 西宮市教育委員会
- 京都市児童相談所
- 群馬県スクールカウンセラー
- 精神科病院常勤カウンセラー
- 万葉クリニック など

修了生からのメッセージ

MESSAGE



坂本 はぎよさん

2017年3月修了

〔勤務先〕 児童家庭支援センター てんり
(公認心理師／臨床心理士)

心理相談員

児童家庭福祉に関する地域相談機関に勤めています。私の主な業務は、来談された子どもの心理療法や家族のカウンセリングです。どのクライアントさんにもその方の抱える悲しみがあるということを常に意識し、丁寧にお話を聞きながら、立ち止まり振り返ることを大切にしています。大学進学の際には「自分のしたいことは何だろう」と悩みましたが、将来自分がどんな職業についても、「こころ」を学んだ経験は役に立つはずと思い至り、当専攻を選びました。そして大学院に進学し、足を踏み入れた奥深い心理臨床の世界。仕事をするうえで、難しさを感じる場面の方が多いですが、セラピーの中で感動的な瞬間を体験したときやクライアントの方との別れに際してそれまでを振り返るとき、心の作業を共にしてきた甲斐を感じます。在学中は専攻からの紹介を通じ、不登校児童と一緒に時間を過ごすボランティアや、学習障がいの子どもの家庭教師なども経験しました。活動を通じて自分をみつめた記憶は、今も自身の基盤となっています。無事に公認心理師にも合格しましたが、資格に安住せず「臨床」の心理職であるよう歩み続けたいです。



三上 仁志さん

2012年3月修了

〔勤務先〕 岡山県・津山みのり学園
発達支援コーディネーター
(臨床心理士)

相手の可能性を信じ、寄りそう姿勢が、
今に生きています。

発達障害者やご家族に対する個別相談や教育施設への巡回相談、地域における発達支援の仕組みづくりなどに携わっています。乳幼児期から親子とかわりを持ち、成長とともに喜び合える素晴らしい仕事です。支援内容は療育や機能訓練が主流ですが、例えば支援に関してご家族の理解を深めていただく際などに心理療法的なアプローチの必要性を感じます。大学院で1対1の心理療法を体験し、またカンファレンスやスーパービジョンによる手厚いサポートで、事例経験を自分の学びにつなげられたことが、現在の仕事に生きています。この分野で働く心理士はまだ少数ですが、そこに開拓したいがあります。